

1. 件名：「日本原燃(株)での原子力安全、核セキュリティ及び保障措置（3S）のインターフェースにおける取組強化に係る面談」

2. 日時：令和5年11月7日（火） 13時30分～16時40分

3. 場所：原子力規制庁 10階会議室（TV会議により実施）

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

核燃料施設審査部門

（原子力規制部新基準適合性審査チーム）

古作企画調査官、大橋上席安全審査官、新井安全審査官、小野安全審査官、
上出安全審査官、山口係員、横山原子力規制専門員

放射線防護グループ

放射線防護企画課 保障措置室

寺崎保障措置室長、古川総括補佐、山口係員

核セキュリティ部門 1名

日本原燃株式会社

再処理事業部 核物質管理部長 兼

燃料製造事業部 燃料製造建設所 部長 他1名

再処理事業部 核物質管理部 核物質管理課長

燃料製造事業部 燃料製造計画部 核物質管理 GL

燃料製造事業部 燃料製造建設所 許認可業務課長（副部長）兼 再処理事業部
副部長（設工認）

再処理事業部 再処理工場 技術部 保安管理課長

濃縮事業部 ウラン濃縮工場 濃縮運転部 運営管理課長 他1名

安全・品質本部 品質保証部長 他1名

再処理事業部 再処理工場 前処理施設部 前処理課長

再処理事業部 再処理工場 電気保全部長 他1名

再処理事業部 再処理工場 機械保全部 前処理機械課長

5. 要旨

（1）令和5年10月17日の面談を踏まえ、日本原燃株式会社（以下「日本原燃」という。）から、3Sのインターフェースにおける取組状況及びセル内照明の全消灯事象に係る報告書の検討状況について、当日の提出資料に基づき説明があった。

(2) 原子力規制庁から、主に以下の点を伝えた。

- ・タスク間のインターフェースの整理においては、相互影響として考慮する観点を踏まえてタスク間の関連性を明確にすることで、タスク間のインターフェースの影響が作用する方向等を整理すること。
- ・業務プロセスの整理においては、保安規定等に照らしてフロー図に記載が不足している事項等を確認の上、各項目の紐付け、関係性等がわかるように整理すること。
- ・インターフェースに係る問題点の抽出においては、現状では業務連絡書で対応している事項を定型の業務プロセスとして追加するものについて補足を追記するなど、改善の状況が明確となるように整理すること。
- ・各申請における影響評価や設備設計における相互影響確認について、次回面談で具体的な内容の認識共有を図っていけるように検討を進めること。

(3) 日本原燃からは、本日の面談を踏まえて対応する旨の発言があった。

6. その他

提出資料

「3Sインターフェースに係る検討の進め方」

「3Sインターフェースに係る検討状況（全消灯事象に関連するタスク以外）」

参考

- ・令和5年10月17日 日本原燃(株)での原子力安全、核セキュリティ及び保障措置（3S）のインターフェースにおける取組強化に係る面談

<https://www2.nra.go.jp/data/000456550.pdf>